※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	歴史総合「近代から現代へ」　（山川出版社）						
副教材等	ダイアローグ歴史総合　（第一学習社） 新歴史総合研究ノート　（啓隆社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な資料や史料を読み解き、その時代の特質や他の地域とのつながりや共通性・異質性を理解してほしい。
・また歴史のタテ軸、すなわち各地域・各国史ごとにとらえる視点も重要です。歴史が単に事件の羅列ではなく、１つ１つつながって、全体像が見えるようになってほしい。

２　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

(1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
(2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
(3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	歴史的事象から課題を見いだし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。歴史的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	歴史的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1章結びつく世界　第2章近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立　第3章明治維新と日本の立憲体制　第4章帝国主義の展開とアジア	アジア諸地域の繁栄と日本 ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出 ヨーロッパ経済の動向と産業革命 アメリカ独立革命とフランス革命 19 世紀前半のヨーロッパ 19 世紀後半のヨーロッパ 19 世紀のアメリカ大陸 西アジアの変容と南アジア・東南アジアの植民地化 中国の開港と日本の開国 明治維新と諸改革 明治初期の対外関係 自由民権運動と立憲体制 条約改正と日清戦争 日本の産業革命と教育の普及 帝国主義と列強の展開 世界分割と列強の対立 日露戦争とその影響	a:主に 18 世紀から 19 世紀における教科書に記載がある歴史用語(人名・地名・事件名など)を理解し、その知識を身につけている。 b: 主に 18 世紀から 19 世紀における歴史的事象を、資料の分析などを通じて、流れや因果関係を理解している。 c: 主に 18 世紀から 19 世紀における歴史的事象について、ノートやプリントの作成、自宅学習を踏まえた確認テストを通じて関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。	定期考査	定期考査	提出ノート 確認テスト 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	第5章第一次世界大戦と大衆社会	第一次世界大戦とロシア革命 国際平和と安全保障 アジア・アフリカ地域の民族運動 大衆消費社会と市民生活の変容 社会・労働運動の進展と大衆の政治参加	a:主に第一次世界大戦の前後の時期における教科書に記載がある歴史用語（人名・地名・事件名など）を理解し、その知識を身につけている。 b: 主に第一次世界大戦の前後の時期における歴史的事象を、資料の分析などを通じて、流れや因果関係を理解している。 c: 主に第一次世界大戦の前後の時期における歴史的事象について、ノートやプリントの作成、自宅学習を踏まえた確認テストを通じて関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。	定期考査	定期考査	提出ノート 確認テスト 振り返りシート
後期	第6章経済危機と第二次世界大戦	世界恐慌の発生と各国の対応 ファシズムの台頭 日本の恐慌と満州事変 日中戦争と国内外の動き 第二次世界大戦と太平洋戦争	a:主に第二次世界大戦の前後の時期における教科書に記載がある歴史用語（人名・地名・事件名など）を理解し、その知識を身につけている。 b: 主に第二次世界大戦の前後の時期における歴史的事象を、資料の分析などを通じて、流れや因果関係を理解している。 c: 主に第二次世界大戦の前後の時期における歴史的事象について、ノートやプリントの作成、自宅学習を踏まえた確認テストを通じて関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。	定期考査	定期考査	提出ノート 確認テスト 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	第7章戦後の国際秩序と日本の改革　第8章冷戦と世界経済　第9章グローバル化する世界　第10章現代の課題	新たな国際秩序と冷戦の始まり アジア諸地域の独立 占領下の日本と民主化 占領政策の転換と日本の独立 集団防衛体制と核開発 米ソ両大国と平和共存 西ヨーロッパの経済復興 第三世界の連携と試練 55 年体制の成立 日本の高度経済成長 核戦争の恐怖から軍縮へ 冷戦構造のゆらぎ 世界経済の転換 アジア諸地域の経済発展と市場開放 冷戦の終結と国際情勢 ソ連の崩壊と経済のグローバル化 開発途上国の民主化と独裁政権の動揺 地域紛争の激化 国際社会のなかの日本 現代世界の諸課題 現代日本の諸課題	a:主に第二次世界大戦後の時期における教科書に記載がある歴史用語（人名・地名・事件名など）を理解し、その知識を身につけている。 b:　主に第二次世界大戦後の時期における歴史的事象を、資料の分析などを通じて、流れや因果関係を理解している。 c:　主に第二次世界大戦後の時期における歴史的事象について、ノートやプリントの作成、自宅学習を踏まえた確認テストを通じて関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。	定期考査	定期考査	提出ノート 確認テスト 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度